

カウンセリングⅡ

科目コード

FG2683



単位数

履修方法

配当年次

担当教員

1

S(講義)

1年以上

中村 恵子

■スクーリングで学んでほしいこと

カウンセリングの目的は、問題解決にあります。カウンセラーは、質問とあいづちによって面接の流れをコントロールし、問題解決をマネジメントします。本講義では、基本的なあいづち技法と問題の本質にフォーカスする問題焦点化技法を学び、面接援助の土台づくりを目指します。

■到達目標

- 1) 基本的あいづち技法を会話に活用できる。
- 2) 問題に対する焦点の当て方を説明できる。
- 3) カウンセリングの意義と役割を説明できる。

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	カウンセリングの基本的技法	あいづち技法と接近技法
2	精神分析の誕生	フロイトと精神分析
3	行動主義心理学の誕生	パプロフから発展した行動療法
4	認知行動療法の誕生	認知療法の誕生と行動療法との出会い
5	人間主義心理学の誕生	来談者中心療法・ゲシュタルト・セラピー
6	認知行動療法の実際①	問題行動の背景にある認知の歪み
7	認知行動療法の実際②	自動思考の解除と誤学習の修正
8	認知行動療法の実際③	不安の拮抗制止と環境調整
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

講義と演習を中心にグループで学習を進めます。

■スクーリング 評価基準

授業への参加態度30% + スクーリング試験70% (持込可、論述式)

■スクーリング時の教科書

スクーリングにあたって、教科書は使用しません。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

講義内容の関心あるテーマについて、自分なりに学びたいことを考えてきてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

授業で提示される参考図書を学習してください。

■卒業までに身につけてほしい力との関連

心理実践力を身につけるため、とくに、「総合的な人間理解力」、「共感と自他尊重に基づくコミュニケーション力」、「自己理解に基づくセルフコントロール力」を身につけてほしい。

■参考図書

中村恵子著『認知行動療法のケースフォーミュレーションとストラテジー』ナカニシヤ出版、2023年